



弥彦中学校だより

第6号 令和5年7月26日発行

< 終業式 校長講話 >

校長

今日で1学期が終了します。1学期の授業日は75日間ありました。皆さんと1学期を振り返りたいと思います。

4月7日に1学期の始業式と、今年度の入学式を行いました。

1学期の冒頭に皆さんには、教育目標の「未来を力強く生きる力を備え、社会に貢献できる人間の育成」にかかわって次のことをお話ししました。

2・3年生には始業式で「様々な場面で『今、だれが何を必要としているのか』を考えてほしい」とお願いしました。また、1年生には入学式で「共に生きる仲間を力貸してあげられる人になってほしい」とお願いしました。

今年1年間、もしくは中学校3年間を通してのお願いですので、まだ、そのことが達成できなくてもよいですが、1学期の間に、これらのことを心掛けて実践する機会があったでしょうか。

給食当番のあの子はどうしてほしいのかな。

部活動の後輩は私たちに何を期待しているのかな。

喧嘩してしまったクラスの二人には、自分は、今、何をしてあげられるのかな。

体育祭を楽しめるものにするためには、自分は何をすればよいのかな。

1学期の間に考える場面がたくさんあったと思います。

だれかが周りの助けを必要としていることに気付くことができたでしょうか。そして、ほんの小さなことでもよいのです。自分にできることを考え実践することはできたでしょうか。

また、昨日、全校で参加した燈籠祭りも、皆さんもこういった機会を楽しみにしていたと思いますし、同時に地域が皆さんを必要としています。互いの必要感に支えられて、こんなに有意義なイベントができています。

「今、だれが何を必要としているか」という視点をもとに、だれかに力を貸してあげられることが、ほんの少しでも出来たら、教育目標の後段の「社会に貢献できる」人に一歩近づけるのだと思います。また、このような力は「未来を力強く生きる力」そのものでもあります。

次に、「未来を力強く生きる力を備える」ことについて振り返ってください。

6月には定期テストが行われました。これまでの学習内容がどれだけ定着したかをみとめるためのものです。学校で得た知識は間違いなく皆さんの生きる力に直結します。皆さんはどれだけ知識、学力が定着したでしょうか。

一方で、それ以上に重要なことは、テスト当日に力を発揮できるように、「計画を立て、準備をする力」を身に付けることです。今後も定期テストがありますが、そのたびに、計画を立てる力、それに沿って準備をする力を養ってほしいと思います。

さて、この「計画と準備をする力」は、学力向上だけでなく、様々な場面で必要とされる力です。

皆さんが頑張った地区大会や県大会等の部活動においても、この力が必要でした。振り返ってみて「確かにそうだ」と実感する人も多いでしょう。そして、今、リーダーの皆さんが放課後に活動を進めている体育祭も、見通しを立てて準備をするという作業を行うからこそ成功にたどり着けるのです。

学習や部活動、学校行事など、様々な場面で、この「計画と準備」が成功をつかみ取るカギになりますし、この力は、将来、皆さんがどのような仕事をしようとも必要な力になると思います。そして、この力こそが教育目標前段の「未来を力強く生きる力を備える」ことにつながるのだと思います。

今日で1学期が終わり、明日から夏休みです。

この節目に、1学期の自分自身の取組を振り返るとともに、夏休みを、気持ちの切り替えの期間とし、2学期への準備の期間となるように、ぜひとも充実させてほしいと思います。

燈籠まつり 子ども燈籠押しの様子です



PTA交通安全指導と校区内パトロール(6・7月)から

PTA校外指導部の皆様から行っていただきました。ありがとうございました。ご報告いただいた中から一部を紹介します。

- 生徒たちは踏切できちんと左右確認していたので良かったです。
- あいさつを少し遠くからしてくれる生徒さんもありました。
- △とても危ない場所だと思いましたが速度を落とさない生徒さんも多く、安全の為にもう少し確認しながら進んだ方がいいと思いました。
- △8時近くになると急いでいたのか手押しボタンの横断歩道を使わず、道路を横断した自転車の子が通っていき、それは危ないと思いました。
- 「カン」の音で踏切を渡らず停止して電車の通過を待っていた男子生徒さんすばらしい反応でした。
- △きちんと整列している生徒さん、逆にしていない生徒さんもみえました。”
- △歩道のある道路では、自転車通行があたり前に走行しているが、特に朝は小学生児童(歩行者も)と登校時間が重なるため、歩道の状況に応じた安全な走行を心掛けて通行して欲しい。
- △坂道を勢いよく走行する様子が見られる。見通しの悪い場所もあるので注意して欲しい。
- △踏切内は自転車を降りて渡る生徒と、そのまま一時停止せず目視して自転車を乗ったまま渡る生徒がいた。

挨拶や電車への対応での配慮が見られること、その一方で自転車の乗り方について心配な様子についてご報告いただきました。自転車の乗り方について、ご家庭で話題にしていきたいです。